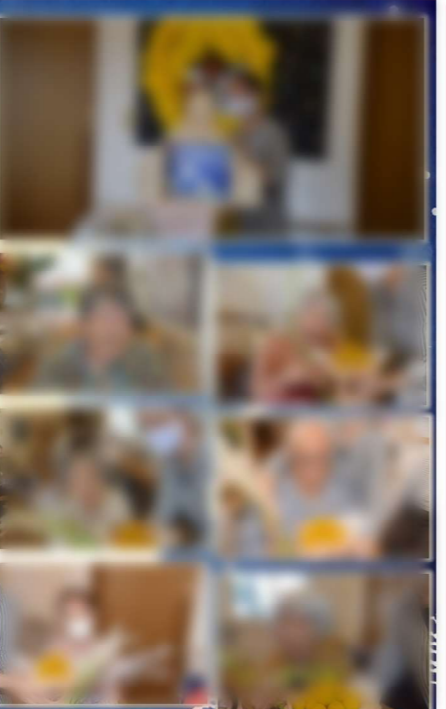


十五夜【10月1日(木)】

十五夜は仲秋の名月と言われ古くから皆さんに愛されています。入居者様にもその雰囲気を感じて頂くべく、花だよりでは、今年のお団子は味がとても良かったです。この日は、先ずスタッフが『月のうさぎ』という紙芝居を行い楽しんでいただきました。皆さん真剣に聞き行って「素晴らしい話で嬉しかったです。」「おもしろかったよ!」と話される方や身体で大きな丸を作って説明される方もいて心に残る紙芝居の

ようでした。紙芝居が終わるとおやつ時間です。自慢のカボチャ団子を前に記念写真を撮ったりしていると「私も撮って!」とニコニコお願ひされる方もいました。また、いつの間にか団子が減っていたりすることもあり、和やかな雰囲気です。普段あまり食欲のない方に「自分の力で食べたね」と話し掛けると「う〜ん、美味しかったもん!」と答え、皿に着いたたれをまたなめて「あー美味しかった」ご満悦でした。皆さんおかわりもしながらたくさん召し上がられていました。



お誕生日おめでとうございます

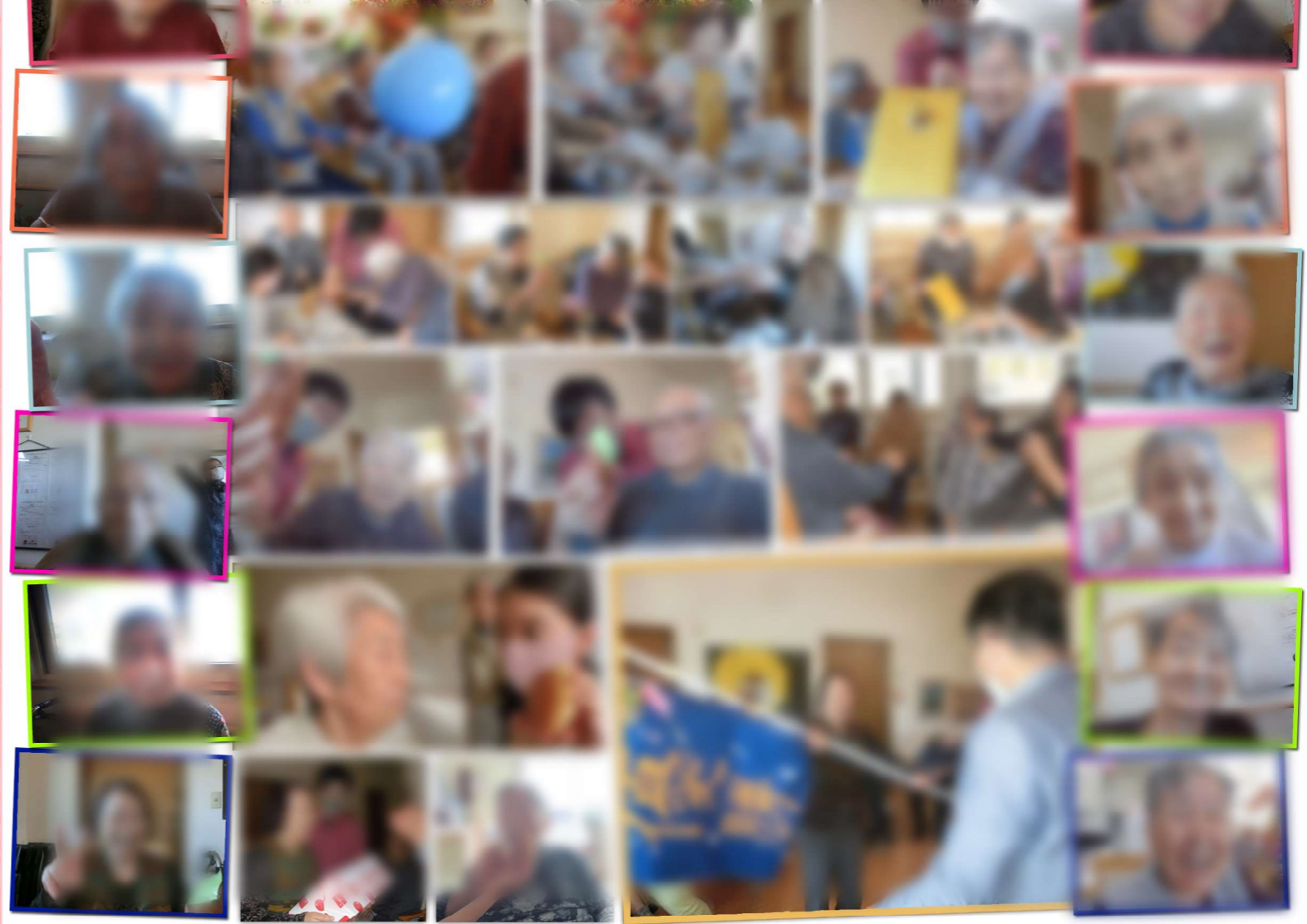
10月6日 さん



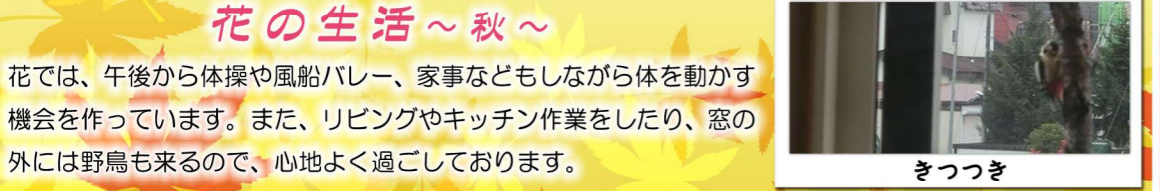
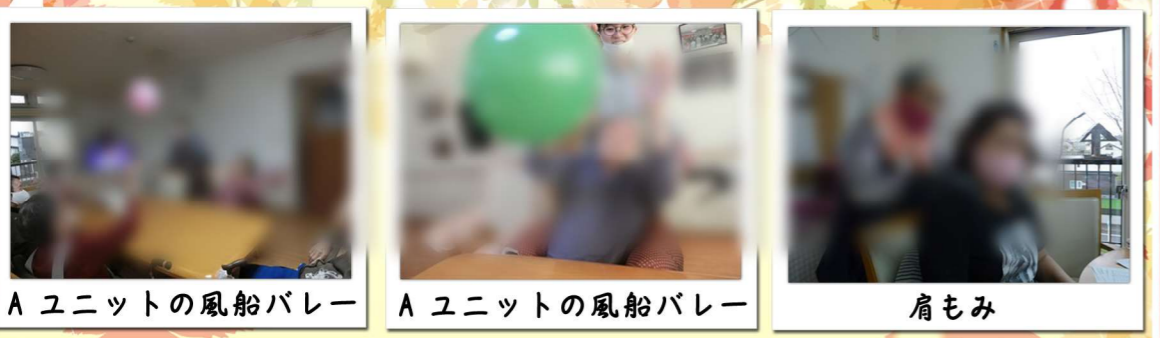
ケーキのロウソクをキレイに吹き消され「ケーキ食べましょ!」ありがとうございますと皆さんに話されていました。プレゼントを受け取ると「えー! いいものある?」と笑いながら受け取られ、また息子さんからのパジャマのプレゼントも「いいもの? これ何?」と、嬉しそうに胸に当てられていました。

秋の三二運動会【10月11日(日)】

少しづつ寒い日が多くなり外活動が少なくなってまいりましたので、気分転換を兼ねて秋のミニ運動会を開催いたしました。まずは準備体操を「1, 2, 3, 4...」と念入りを行い、次に風船バレーをする、「私しないよ!」と言われていた方も、風船が飛んでくると体が反応してしまうようで、だんだん真剣になり「そっちいったよ!」と声も出てまいります。また、傾眠されている方も目がぱっちり開き、腕もしっかり伸ばして力強く打ち返すようになってまいります。メイン競技は『タケノコほりゲーム』です。新聞紙を散りばめた器に可愛らしいタケノコを忍ばせ、金の鍬で掘り当てて次の方へ繋いでいくゲームです。「これでいいの?」「入ってたねー」「イモにみえたわーハハハ!」皆さん真剣に一生懸命探されていましたが、勝負がうまくつかず、最後はユニット代表者のさんとさんがジャンケンを行い、Aユニットが大優勝旗を勝ち取りました。競技が終わるとおやつ時間です。以前していたパン食い競争の名残でアパンパンを皆さんで食べております。「アハハ、たまにはいいね!」と入居者様にもとても好評なおやつです。これからの季節、屋内で回廊なども使いながら適度な運動に心がけてまいりたいと思います。



ハロウィンの飾りも楽しんでいます! 花の畑で取れたカボチャです!



施設長コラム

～藤星高校認知症サポーター養成講座～ 藤星高等学校様との交流は、例年9月から11月までの間に同校の1学年の皆さん全員がクラスごとに2ラウンド花に来ていました。入居

者様もとても楽しみにしていた交流会ですが、コロナの影響で今年は中止となってしまいました。それでも認知症サポーター養成の依頼があり喜んで行ってまいりました。入居者様との交流はできませんが、認知症のこと以外にもプロジェクターを使いこれまでの藤星高校の一年生の方々との交流会の様子や夏祭りやクリスマス会でのボランティア活動などを含めて話をさせていただいております。来年は是非生徒の皆さんがいらして頂けることを期待しております。

花の生活～秋～

花では、午後から体操や風船バレー、家事などしながら体を動かす機会を作っています。また、リビングやキッチン作業をしたり、窓の外には野鳥も来るので、心地よく過ごしております。